
手記（日記？）

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
手記（日記？）

【Nコード】
N5282R

【作者名】
聖魔光闇

【あらすじ】
なんとなく頭に浮かんだ言葉を作品にしてみた。

(前書き)

小説は難しい。でも、そんなに難しく考えなくても、いいんじゃないか？

特に新人著者様に読んで欲しい。

とりあえず書いてみる。頭に何も浮かばないけど、書いてみる。
物語の創作の根源は妄想だ。妄想の中で繰り広げられるドラマを
文章にかえて他者に伝える。それが小説であり詩なのだと考える。
よく、物書きに成り立ての者が言う言葉。

「文才がないので……」

文才なんてモノは、殆どの人が持っていない。

とてつもなく壮大な物語を執筆する著者様であっても、執筆用取
材と称して、各地を巡りネタ集めをする。

妄想が根源の物語も、現実を零にして執筆する事は不可能に近い
筈だ。

とりあえず、文頭に一マス空けて書きはじめ（段落）『！』や『
？』の後は一マス（一スペース）空け（「」の最後になる場合を
除く）、「」の最後の『。』は記入しない。会話文は改行して記
入し、『…』や『―』は二の倍数（×四は長いので×三という方も
おられるが）を使用して執筆を行い、行動描写、心理描写を必要以
上に加えなければ、それなりの小説が書けるのではなからうか……。
私も物書きの一人だ。しかし、詩や物語を多数執筆してきたが、
未だに納得のいく文章を創作する事はできない。

結局のところ、想像力が乏しいのだ。

でも、書くという事は楽しみの一つであり、ストレス解消の一つ
でもある。

読む事も、楽しみの一つであり、ストレス解消の一つでもある。
今から半年程前、私は携帯電話に書いた小説らしきものを家族や知人に見せ、
感想を貰っていた。

しかし、小説は所詮小説ではなく、ただの台本だった。
読者である家族や知人は、顔見知りであるが故にか高評価をくれ

ていた。

調子に乗った私は、ここにその作品を投稿してみた。……が、感想がこない……。

私は他の著者様の作品を読んでみた。レベルが違いすぎた。

そして私の執筆は、プロデビュー目標から趣味へと変換した。

それでも執筆意欲は減退しない。何故ならば、書いたモノを読んで頂ける読者様がいるからだ。

昔幼少の頃に書いた作文。小説の世界ではエッセイというらしい。それでも、これも一つの小説だ。

妄想を根源とした物語ではなく、ノンフィクションの物語、コレも小説の一部だと考える。

書き手（著者様）がいて、読み手（読者様）がいて小説は意味を成す。

恐れる事なかれ。自分の生み出した文章を『駄作』や『駄文』と蔑む事なかれ。

創作執筆された文章は、著者個人の宝であり、読んでもくれる読者の宝でもあるのだから。

小説を執筆、物語を執筆、詩を執筆、エッセイを執筆する全ての方達に一言言わせて頂きたい。

「夢を文字で語る物語や情景を提供してくれてありがとう」

そして、これから執筆を手掛ける著者様に一言

「考えるな！ 物語は無数に存在し、無数の読者様がいるのだ。自分の信じた道を進みましょう！」

最後に拝読して頂いている読者様にも一言

「いつも、読んで頂きありがとうございます。多種多様の著者様がおられますが、全ての文章に意味があり、心が組み込まれているのです。拝読頂きありがとうございます」

新旧問わず著者の皆様・著者兼読者様、夢を与えてくれてありがとうございます。そして読者の皆様、夢を受け取って頂きありがとうございます。

皆様、お体に（健康に）お気を付けて、これからも『小説家になるう』をよろしくお願い致します。

これにて、小説ではない不思議な文章を終わらせて頂きます。御拝読ありがとうございました。

「また、物語のネタが浮かんだら、書きたいなあ……」

(後書き)

楽にいこう♪ 楽にね♪

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5282r/>

手記（日記？）

2011年10月8日01時07分発行